

# 旧赤松家だより

平成 29 年 7 月 26 日



梅雨が明け、今年も夏本番の到来です。

旧赤松家庭園では、セミたちが朝から大合唱をしています。

子どもたちにとって楽しみな夏休みがやってきました。お出かけの計画を立てているかと思いますが、旧赤松家記念館をその一つに入れてみませんか。

赤松則良は、幕末に勝海舟や福沢諭吉らと共に咸臨丸で渡米、その後幕府の留学生としてオランダで造船技術を学び、明治政府の海軍整備や軍艦建造で大きな功績を残しました。加えて、磐田原台地で20町歩(約20ha)にも及ぶ茶園開拓を行いました。

その赤松則良や赤松家に関わる展示や県・市の文化財であるレンガ塀や建物を通して、幕末から明治にかけての歴史に触れることができます。

また、内蔵ギャラリーでは7月26日から『旧赤松家庭園の生き物たちⅡ』を開催しています。昆虫や草花などの写真、チョウの標本などが展示されています。理科自由研究のヒントになるかもしれません。

ぜひお出かけください。

## 内蔵ギャラリーのご案内

### 『旧赤松家庭園の生き物たちⅡ』

開催期間：7月26日(水)～8月8日(火)

\*休館日 7月31日(月)、8月7日(月)

開催時間：午前9時～午後4時30分(最終日は午後3時00分まで)

入場料：無料

出展者：旧赤松家記念館

問い合わせ：旧赤松家記念館 0538-36-0340



「岩に止まるショウジョウトンボ」



「クマゼミと抜けがら」